

平成24年9月上・中旬における北海道周辺海域の海面水温について

北海道周辺海域において、9月中旬に海面水温（旬平均）が過去最高を記録しました。また、旬毎の統計においても、9月上旬および中旬は最も高くなりました。これは、太平洋高気圧の勢力が日本の東海上で非常に強かったためと考えられます。

9月中旬の海面水温（平年より4.6℃高い22.5℃）は、2010年8月下旬の21.4℃を上回り、1985年以降*の全期間を通じた記録として最も高い旬平均水温となりました。

太平洋高気圧の勢力が日本の東海上で非常に強まり、北日本の旬平均気温は、8月下旬から9月中旬までの3旬続けて、統計を開始した1961年以降で最も高くなりました。

海面水温でみると、北海道周辺海域（図1の白枠内）では、季節的に8月から9月にかけて海面水温が最も高い時期となりますが、9月上旬および中旬の平均値は、2旬続けて、これまでの旬毎の記録を更新したとみられます（図2を参照）。

このような記録となった要因は、北日本に高温をもたらした太平洋高気圧に覆われた影響で、北海道周辺海域では風による下層の冷たい海水との混合が少なくなり、晴天下の日照を受けて深さ10数m前後までの海面付近を中心に熱が蓄積されたことが考えられます（図3を参照）。

なお、本発表の海面水温は速報値による結果であるため、後日、修正されることがあります。

参考（速報値）

	海面水温（旬平均）	平年との差	これまでの記録
9月上旬	21.8℃	+3.3℃	21.1℃（2010年）
9月中旬	22.5℃	+4.6℃	20.1℃（1999年）

* 船舶による海洋観測に加え、人工衛星によるリモートセンシング資料が利用可能となった1985年以降の旬平均海面水温に基づき算出しています。

本件に関する問い合わせ先：

気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象情報室

電話 03-3212-8341（内線 5127）

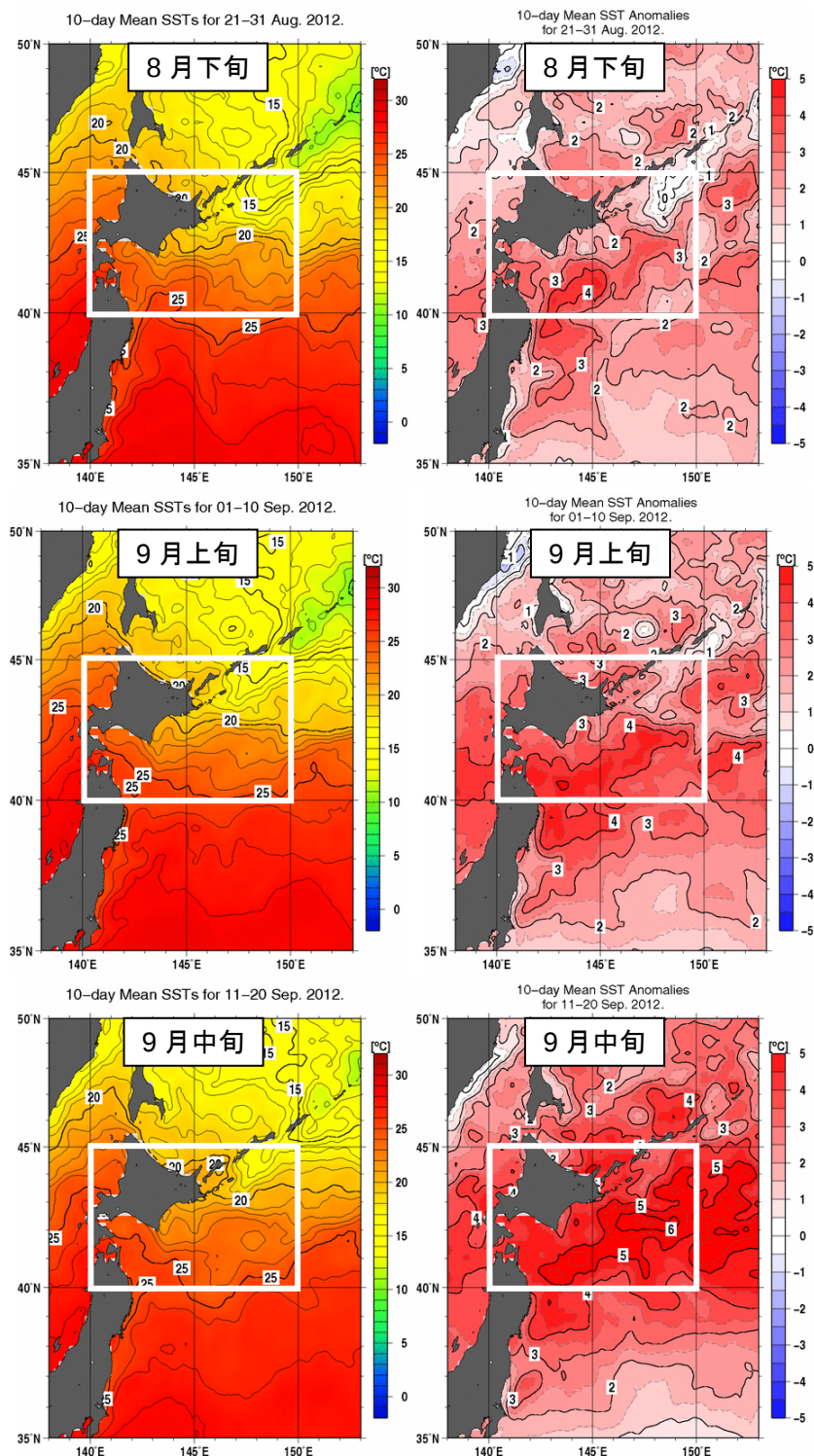


図1 8月下旬、9月上旬、9月中旬における旬平均海面水温(左)と偏差(右)。偏差は1981年～2010年までの平均値からの差を示し、単位はいずれも℃。白枠は北海道周辺海域の範囲。

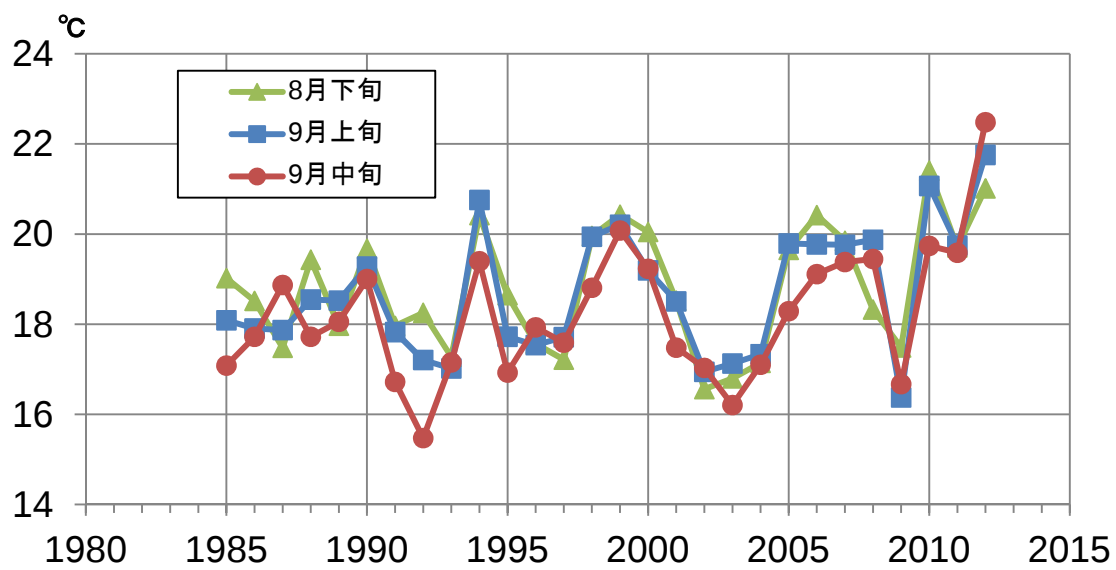


図2 北海道周辺海域の旬平均海面水温の時系列（1985～2012年）

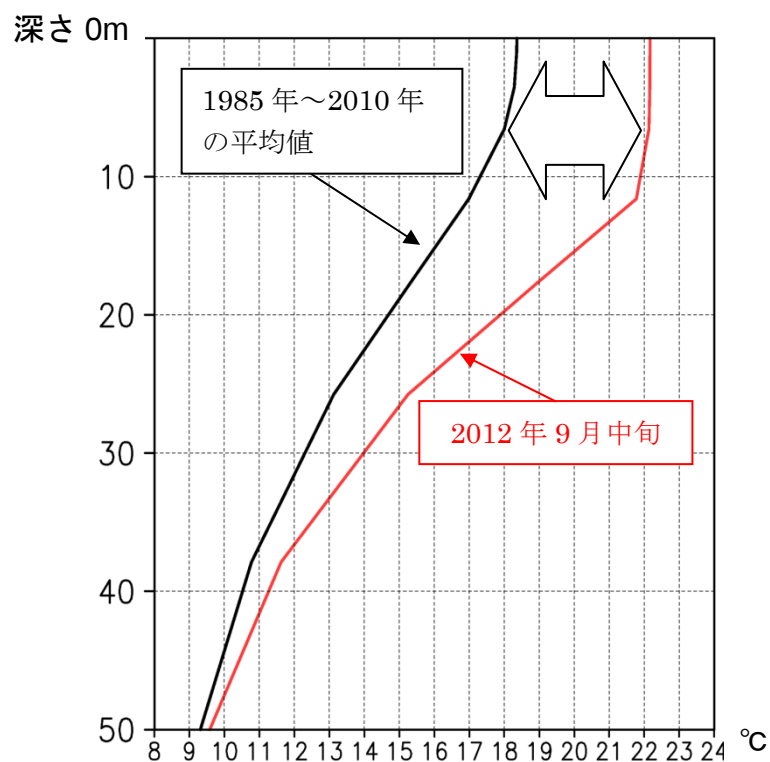


図3 北海道周辺海域における海水温の鉛直構造（解析結果）

北海道周辺海域における、2012年9月中旬（赤線）と長期平均（黒線、1985年～2010年の平均値）の海水温の鉛直構造。海水温が平均より特に高い範囲（図中の $\Leftrightarrow$ ）は海面から10数mに限られており、深さ50mでは平均との違いは小さい。